



# エイジレス・ライフ実践

## 3グループ、内閣府HPで活動紹介

社会参加活動に積極的に取り組む高齢者のグループなどを内閣府が紹介する本年度の「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」に市内の3グループが選ばれ、10日に市役所で書状と記念盾の伝達式があった。



社会参加活動の紹介事例に選ばれた3グループの代表ら10日、市役所

選ばれたのは、視覚障害者に音訳テープを配布している「音訳みちしおの会」(田中博子代表、19人)と聴覚障害者の勉強会を開いている「すみれの会」(扇公子代表、52人)、介護予防のためのサロンを運営している「高齢社会をよくする

下関女性の会(ホーモイ)」(田中隆子代表、110人)。3グループの活動は、高齢者が年齢にとらわれず生き生きとした生活(エイジレス・ライフ)を送るための参考事例として内閣府のホームページで紹介される。中尾友昭市長は「今後も元気に活動して」と激励し、各グループの代表に書状などを手渡した。ホーモイの田中代表(69)は「とても光栄。自分たちの活動が全国に広がってくれたらうれしい」と語った。

